

A グループ

(1) 市民活動団体の PR 方法について	(2) 市民からの選択届出方法について	(3) 対象経費について
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉市の場合には自治会単位の申請が多いように思う。 ・自発的な市民活動の応援を目的とすべきではないか。 	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会関係が回覧板で投票依頼 個別訪問の勧め禁止。 ・団体の大きさ、組織によって違いが出る。 ・市民のためのちょいず。(地域というより) ・届出書をまとめて市窓口を持ち込むことも認めてほしい。 	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師弁当・飲物 1人1,000円上限 2回開催でも1人分。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月の駅前のPRを止めてほしい。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今よりややこしい届出は無理。 ・市川市の市民活動支援事業と和泉市は違う。自治会単位はおかしい。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費についてはもう少しゆるやかな分け方でも良いのではないか。 ・ちょいずの申請している団体で助成金を重複で受けている団体への対応。
<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前でチラシ配布について、寒い時期・時間は避けてほしい。 ・市民活動センターに集計やPR活動を委託する。 	<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散させるため複数、グレード別に ・インターネット投票の導入。 ・無効となった投票分の再配分 1つ選択禁止、2つ又は3つ投票。 	<ul style="list-style-type: none"> ・23年度の事業であるのに23年度中に支援金をもらえないのは困る。 ・支援金を年度内(3月末)に支払いを。 ・支援希望額を超えた届出分をどう活かすのか。 ・費目の内訳は必要ない市の他の助成に合わせれば。 ・ちょいず事業だけ弁当代を出すのはどうか。 ・スタッフの食料費は対象経費にしてほしい。
		<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援金の増額変更可能に。 ・スタッフの弁当代も当日だけ値段の制限を付した上で認めてほしい。 ・選択届出できる年齢下げたら。 ・お茶代もやめよう。 ・講師の弁当代もやめて。

B グループ

(1) 市民活動団体の PR 方法について	(2) 市民からの選択届出方法について	(3) 対象経費について
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P R 活動の充実が必要。 ・ 3 団体選ぶと 1/3 の助成金となり、小さい団体は不利。 ・ ちよいず広報紙を見てない。 ・ 広報のあり方には問題。内容を見ないで捨てている。 <p>・組織力の違いが P R 活動の差になる。組織力のない所を支援する仕組みを考えてほしい。</p> <p>・ちよいず冊子にかかる費用はムダ!?</p> <p>・自治会の班長回収や回覧で廻すのはおかしい。</p> <p>・制度自体の認識度が低い。(届出率 12.5%)</p> <p>・市としての策は? 市民団体の P R 方法以前の問題。</p> <p>・投票用紙が足りない。</p>	<p>現状</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援希望額を超過した届出に関して、他の支援希望額に達しなかった団体へ分配する方法を考えてほしい。 ・ 必ず 2 団体を選ぶように変えてほしい。 ・ 記入の仕方がわかりにくいので、投票用紙にも金額をいれる。 	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金の取り扱いがわからなかった。 ・ 市の施設費の割引も補助と考えると、補助を二重に受けている団体が存在することになる。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちよいずのポスターで PR ・ 3 団体選択時の金額を冊子・投票用紙にはつきり記載するべき。 <p>・ 場所をスーパーなどで P R する。病院なども。</p> <p>・ アイ・あいロビー等で年間通して「ちよいず」の P R をする。</p> <p>・ ちよいずの年間動きがアイ・あいロビーで見ることが出来ればいいのでは。</p>		<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金の締め切り日を決算期の決定日に。
<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイ・あいロビーなどで年間を通してちよいずの P R や支援をする場所を設置してほしい。 ・ 駅前でのピラ配りの時間帯を変えるべきである。 ・ ちらしの配布時間等を毎回ずらせばどうか。 <p>・ 様々な施設での啓発のチラシなど置く。</p> <p>・ ちよいず広め隊 (P R) に予算をつけてほしい。</p> <p>・ ちよいずを P R する。(和泉 P R 隊)</p>	<p>解決策</p>	<p>解決策</p>

C グループ

(1) 市民活動団体の PR 方法について	(2) 市民からの選択届出方法について	(3) 対象経費について
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの口コミ ・自治会の回覧 ・各家に訪問 × 自然の流れで周知 自治会などの組織力 個人の付き合いでお願い 	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも広報の存在自体知らない。 ・投票を多く取るのは団体として当然。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR 活動は大変時間をとられる。人件費 (市・団体ともに) ・市民にとってどのようなメリットがあるのか。(市の PR 方法) ・具体的 PR がないと投票が低調になる。 ・ちょいずの認知度がなく、説明に時間がかかる。 ・公平であり不公平。草の根の活動には集まりにくい。
<p>課題</p> <p>制度の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政がすべきこと ・各団体がすべきこと ・広報にはチラシが入っているけれど、あまり知っている人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の関心度が低い。いかにするか。 ・PR は地域に密着して行っている。(市全体ではなく地域の事業が多い) ・駅で配布は意味がない。 ・市民の一人ひとりの口コミ 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅で PR していても個人名だけでなく住所などを書いてもらいにくい。 ・住民への周知不足 ・投票用紙の回収方法
<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちょいず」の制度そのものがほとんど理解されていない。(PR 不足) ・地縁団体による PR 活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りをする。 ・自治会の協力は不可欠(盛り上がり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全団体が集まって PR する。(フォーラム・イベント)

Dグループ

(1) 市民活動団体のPR方法について	(2) 市民からの選択届出方法について	(3) 対象経費について
<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントに市内外からの参加者がある。どう評価するか。 ・ 直接市民と接する場がない。 ・ ちよいづを知らない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織のあるところは票が読める。 ・ 子どもたちにPRしたのが良かった。 	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧を廻すのは良い。 ・ 自治会から回覧見られているから書けない。 ・ 広報の配布日が地域によって違う。早いほうが有利。 ・ 広報はさみ込みを自治会がしていると先に投票される。 ・ 自治会で票を集めているからと、断られた。 ・ PR期間が短い。 	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈チェーンソーなどの備品購入費が必要。 ・ 経費の率の妥当性。 ・ 市民など逆の立場からは不愉快ではないか。 ・ ボランティアの食料費も認めてほしい。(実際には団体が用意している。) ・ スタッフの食料費を認めてほしい。 ・ 余ったお金を別の市民活動団体に配分できないのか。
<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まずはちよいづを認識してもらう。 ・ 団体イベントチラシに「ちよいづ」の字を大きく入れる。 ・ PRを目立つようにカラフルに。 ・ HPの「ちよいづ」をピカピカ光らす。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発冊子にHPアドレスを。 ・ 継続的に年間通じてPR。 ・ 広報紙を見ない人にはやはり市民活動団体みんなの口コミ。 ・ 団体数が増えれば、口コミも増える。 	<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市HPに団体HPをリンク。 ・ 1月広報の表紙にちよいづを掲載する。 ・ 投票期日を延ばす。 ・ 投票を部門別または継続・新規といった形で分ける。 ・ 講演(年1回)や会議の場などでPR。 	<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投票額の差分を市民活動のために有効活用。